

第14期 平成29年度 事業報告書

(自 平成29年4月1日 ~ 至 平成30年3月31日)

社会福祉法人 信濃の星

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (H30年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害ふくしネット(協議会)運営業務
施設の名称	コーディネートプラザながの
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階

2 施設概要

施設の規模及び構造

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
なし	原則、月～金(祝日、12/29～1/3を除く) 8:30～17:30	75.5㎡ (事務所・相談室含む)		
開所年月日	平成15年4月1日	責任者(職名・氏名)	室長 1人	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>【運営方針】 市と協力して長野市障害ふくしネットの事務局業務の一部を担うことで、長野市に居住する障害者及び障害児・者の福祉、就労、保健、医療等に関する各種サービスの総合的な調整及び推進を図るための情報共有及び連携強化を行う一助となり、地域の力を高めていく。</p> <p>〔事業計画〕 年間を通じて、長野市障害ふくしネットの事務局としての業務を行う。実施事業の内容については下欄(事業内容)を参照。</p>			
目標	市と協力し、ふくしネットの運営を円滑に進める。			
職員配置(職名・氏名)	2人			
利用者の状況	◇会 長:長野市保健福祉部長 ◇事務局:長野市障害福祉課 ◇構成員:障害当事者・障害者相談支援事業者・障害福祉サービス事業者職員・保健医療関係者・教育関係職員・障害者雇用企業関係者・学識経験者・関係行政機関職員・その他			
送迎の有無	なし			
利用対象者	なし			
利用の料金・費用	特に無し			
事業内容	長野市から委託を受け、長野市障害ふくしネット(協議会)の事務局業務の一部を、仕様書の内容に沿って実施する。			
収入の見込み(年間)	行政委託	3,600,000円	その他	3,090,000円

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害者相談支援事業
施設の名称	コーディネートプラザながの
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～金(祝日、12/29～1/3を除く) 9:00～18:00
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	長野市障害者相談支援専門員 常勤・専任 1人 管理者 常勤・兼務 1人
利用対象者	障害のある当事者・家族、及び関係者
利用者の状況	別紙
送迎	なし
車輛の利用状況	公用車1台使用
利用の料金・費用	なし
具体的な事業内容	「長野市相談支援事業実施要綱」に基づく事業 (1)障害者相談支援事業:個別の相談支援業務 (2)相談支援機能強化事業:困難ケースへの対応、長野市自立支援協議会(長野市障害ふくしネット)の運営への参加、相談支援専門員との連携と人材育成、ネットワーク構築 (3)成年後見制度利用支援事業:成年後見制度利用に関する支援
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・担当地区の保健師・包括・学校等から相談に繋いでもらっている。 ・長野圏域障害者総合支援センターの窓口として、県や他圏域、関係機関から紹介されることがあり、身近な地域へ繋いでいる。また総合支援センターとして関係機関から求められる役割への対応については、長野保健福祉事務所と相談しながら対応している。 ・担当地区の福祉活動計画検証の場など、会議の日程等で参加できなかったが、地域の資源として認識していただいている。地区で行っている地域ネットワーク会議等通して民生委員や地区社協と関わりを持っている。関係者から学習会等の依頼がある際には協力している。 ・多様な相談があり、中には様々な事情で福祉に繋がらない方や目指すものが見えない方もいる。気軽に相談し繋がれる場として継続して関わり、必要な時に関係機関と繋がられるようにしている。 ・家族全体に課題があるケースについては、関係者同士で連携しながら関わりを持っている。 ・サービス等利用計画がついた後も相談支援専門員やサービス提供事業所と協力しながら、継続して取り組むケースもある。 ・ケアマネ連絡会として県の相談支援事業機能強化会議に出させてもらい、県や他圏域がどのような動きをしているのか、知る機会があった。ふくしネットの担当部会への参加・協力をした。 ・例年通り県の相談支援従事者養成研修に関わらせてもらった。またファシリテーターとして各種研修に協力した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス事業所や相談支援専門員への繋ぎ方。繋ぐタイミングや、情報提供の仕方等、悩みながらその都度対応している。 ・児童の相談ケースが減っているため、実際にサービスを紹介する際に事業所の特色等把握できておらず、児童専門の相談員に情報をいただきながらの対応となっていた。 ・多様な相談に対応するために、幅広い知識や、福祉だけに限らない地域や関係機関との協力が必要。 ・国の動向を見ながら市が相談支援体制や協議会のあり方について考えている。 ・「長野圏域障害者相談支援センター」という不確かな存在に対するニーズへの対応。
↓	
次年度への具体的な 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は相談支援事業の委託を受けなかった。これまでのケース対応等、今いる相談支援センターの相談員に引継ぎ、相談者が不安なく新たな担当者に馴染めるように配慮したい。 ・相談支援事業の委託を受けなかったことに伴い、「長野圏域障害者相談支援センター」としての連絡先(住所・電話番号)のあり方について市障害福祉課相談。平成30年度も継続して関係機関のパンフレット等に掲載されることになった。ふくしネット事務局として相談窓口の役割を果たし、身近な相談場所等紹介していく。圏域の状況等、気に留めて対応したい。

(報告様式)

障がい者総合支援センターの利用者及び相談支援の状況 (H29)

センター名： 長野市障害者相談支援センターコーディネートプラザながの

1 障がい種別登録者数 (実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
14	34	30	22	10	110
視覚障がい者				高次脳障がい	
3				2	
聴覚障がい者					

2 障がい種別相談延べ件数

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
210	764	891	816	47	2,728

3 支援方法別相談延べ件数

訪問	来所	電話	電子メール	個別支援会議 (ケア会議)	その他	合計
100	76	1,911	278	75	288	2,728

4 相談の内容 (複数回答あり)

相談内容	延べ件数	割合
福祉サービスの利用	1,436	27.14%
社会資源の活用 ※「福祉サービスの利用」に含まれるため、	0	0.00%
障害や病状の理解	238	4.50%
健康・医療	431	8.15%
不安解消・情緒安定	867	16.39%
保育・教育	21	0.40%
家族関係・人間関係	508	9.60%
家計・経済	215	4.06%
生活技術	376	7.11%
就労	412	7.79%
社会参加	158	2.99%
余暇活動 ※「社会参加」に含まれるため、	0	0.00%
権利擁護	49	0.93%
その他	580	10.96%
合計	5,291	100.00%

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (H30年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市リフトバス車両運行管理業務運営受託
施設の名称	コーディネートプラザながの
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
バス乗車12人 (内車いす利用席4)	リフトバス運行時間:原則としてAM8:30～PM5:00 予約受け付け:コーディネートプラザながの 開館時間内 (土・日・祝日及び12月29日～1月3日を除く 毎日 8:30～17:30)	m ²	リフト付き マイクロバス	m ²
開所年月日	平成25年4月1日	責任者(職名・氏名)	責任者 1人 運行管理 (株)アリーナ	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 長野市の委託を受け、一般の交通機関を利用することが困難な重度の障害者の生活圏を広げ、その福祉の推進を図り社会参加の一助とします。</p> <p>【事業計画】 長野市リフトバス利用にあたっての詳細を長野市ホームページ掲載し、利用団体への理解を深めます。 長野市と連携しながら判断が困難な場合に対応します。 運行管理は(株)アリーナに委託します。 安全な運行のため、安全定期的に車両・リフト点検を行います。運行中の故障にはアリーナと連携し速やかに対応します。利用される団体にはシートベルト着用をアナウンスし、安全の意識を高めます。</p>	
目標	<p>【目標】 利用団体が公平に利用できるよう受付し、安全な運行に努め、重度の障害者の社会参加の一助とします。</p>	
職員配置(職名・氏名)	車両管理責任者 1人、 ほか2人 ※電話での受付は職員全員が行います。	
利用者の状況	H29年度利用状況 ・ 登録団体58 ・ 運行回数174回	
送迎の有無	無	
利用対象者	長野市に住所を有し、障害者手帳の程度が下肢又は体幹の機能障害3級以上の車いす使用者を2名以上含む団体またはグループ。	
利用の料金・費用	一般の運行に関しては無料。高速道路など発生した料金は別途実費徴収	
事業内容	①管理車両の運行計画の作成に関すること ②管理車両の点検整備及び清掃に関すること ③管理車両の安全運転に関すること ④管理車両の保管及び管理に関すること ⑤管理車両の事故処理に関すること	
収入の見込み(年間)	行政委託	3,800,000円

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害者相談支援事業
施設の名称	コーディネートプラザながの 長野市障害者虐待防止サポートセンター
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～金(祝日、12/29～1/3を除く) 9:00～18:00
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	虐待防止サポートセンター管理者 常勤 1人 虐待防止サポートセンター相談員 常勤 1人
利用対象者	障害のある当事者・家族、及び関係者
利用者の状況	虐待相談、一般相談、虐待防止研修企画実施等 身体4件、知的4件、精神15件、不明1
送迎	なし
車輛の利用状況	なし
利用の料金・費用	なし
具体的な事業内容	「長野市相談支援事業実施要綱」に基づく事業 ●虐待相談対応、権利擁護に関する業務 (1)障害者相談支援事業:個別の相談支援業務、研修・啓発の実施、新たな施策に関する業務 (2)相談支援機能強化事業:困難ケースへの対応、長野市自立支援協議会(長野市障害ふくしネット)の運営への参加。 (3)成年後見制度利用支援事業:成年後見制度利用に関する支援
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待通報の相談対応。・市虐待防止センターの補助業務。・虐待防止の啓発活動。 ・虐待防止の研修、企画で新しい試みが出来た。 ・市ふくしネットの事務局を併せ持つことから関係団体や機関等からの相談への対応。 ・長野市虐待防止連携協議会を開催し、困難事例を共有し虐待防止を関係者と連携できる体制作りを行った。 ・福祉サービスを利用する相談者については、相談支援専門員に円滑に引き継げるよう配慮した。 ・H29年度の通報者は障害別で精神の方が多かった。今後は特性を知った上での対応が必要とされる。 ・市では終了したケースとしていた方が何度も通報してきたことで新たな対応が必要と思われる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の通報後の動きは早く取らなければならないが、市虐待防止センターと連携で動いている事で迅速とはいかず日程調整が取りづらいこともあった。 ・相談内容が複雑化している。本人を含めた家族や就労先を含めた聞き取りが必要となっている。また虐待を行った事業所や法人に対する指導が虐待としての内容だけではなく、運営的なことも必要と思われる。 ・同じ方からの通報は以前の対応がどのようにされていたかを検証してから再び対応をしたい。 ・市の判断に時間がかかる時は、相談員の迅速な動きと判断が必要と思われる。
↓ 次年度への具体的な 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度は虐待防止サポートセンターの委託事業を他の法人が依頼することになった。については長野市の虐待防止サポートセンターの取り組みが途切れることなく、スムーズに移行出来るように支援し、継続課題への取り組みでは引き続きサポートできる体制を取っていく。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害者差別解消サポートセンター事業
施設の名称	コーディネートプラザながの 障害者差別解消サポートセンター
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～金(祝日、12/29～1/3を除く) 9:00～18:00
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	差別解消サポートセンター相談員 非常勤・専従 1人 相談補助/虐待防止サポートセンター相談員 常勤・兼務 1人 相談補助/まいすてっぷ 相談支援専門員 常勤・兼務 1人
利用対象者	障害のある当事者・家族、及び関係者、行政機関、民間事業者
利用者の状況	障害のある当事者・家族、及び関係者、行政機関、民間事業者等 個別相談 協議7件、研修15回 参加人数 1020人
送迎	なし
車輛の利用状況	なし
利用の料金・費用	なし
具体的な事業内容	「長野市相談支援事業実施要綱」に基づく事業 ●障害者差別に関する業務 (1)相談事業:相談受理・調査、専門機関等紹介、サービスや社会資源活用の支援、事業所からの相談対応、相談ケースの対応と課題の整理 (2)障害者差別解消法理解・啓発事業:研修や広報・啓発活動 (3)障害者の情報保障とコミュニケーションに関する支援活動:情報保障の推進・研究 (4)その他事業:障害者の権利擁護に関する業務・関係機関との連携に関する業務
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市差別解消センターの補助業務。 ・差別解消の啓発活動。 ・長野市ふくしネットの事務局を併せ持つことから関係団体や機関等からの相談への対応など行った。 ・長野市障害者差別解消連携協議会を立ち上げ、虐待防止連携協議会とも連携を深め、困難事例や問題事例を共有する関係者が集まり年1回開催することが出来た。 ・行政機関からの要請に伴い、研修活動を通じて差別解消法の周知に努めた。 ・一般企業に関わるケースでは、長野市の差別解消センターとも連携を図り、聞き取り調査から相談、解決に向けた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関、住民自治協等からの研修依頼は増えてきたが、一般企業での研修は実現できなかった。 ・まだまだ世間一般には障害者差別解消法が浸透していないので、合理的配慮の必要性が理解してもらえない現状がある。また、どこからどこまでが合理的配慮の範囲となるのか、当事者とお店や企業、双方が悩むこともある。
↓	
次年度への具体的な 取り組み内容	・差別解消サポートセンター業務は終了となるので、今まで培ったノウハウを法人研修等で生かし、施設内の接遇の向上や地域への発信に繋がられるようにしていきたい。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害ふくしネット(協議会)
施設の名称	障害者相談支援施設
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階

2 事業報告

営業日及び営業時間	年末年始を除く毎日(9:00~18:00) ふくしネットについては、随時
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	2人
利用対象者	障害者当時者及び家族、支援者、支援団体、関係機関、ボランティア
利用者の状況	参加団体約150団体(福祉事業所、当事者、学校、医療関係、行政、団体、企業、その他)
送迎	無
車輛の利用状況	無(必要時、相談支援事業の車両を借用)
利用の料金・費用	基本的に無料。委託費にて運営。見学会など経費がかかる行事は実費負担あり。
具体的な事業内容	<p>障害者総合支援法に基づき長野市が協議会(長野市障害ふくしネット)を設置。事務局をコーディネートプラザながのに置き、ハーモニー桃の郷、ふれあい福祉センターなどを主な会場に実施している。障害当事者や関係機関が参画し、障害児・者やその家族が安心して暮らせる地域社会をつくるための、ネットワークとして運営している。各部会の開催のほか、作成物作成、行事の実施なども計画に合わせて行った。</p> <p>■全体協議会(2回) 9/14(研修:長野ダルクによる薬物依存について)トイゴ、3/22(年間報告と来年度に向けて、来年度のふくしネットの体制について)トイゴ</p> <p>■施策フォーラム(2回) 提言内容:移動支援事業(くらし部会)、生活介護事業所の入浴加算(かつどう部会)、施設医療ケア事業(医療的ケア)、通所施設の健康診断(しごと部会)、相談体制についてなど</p> <p>■ケアマネ連絡会(毎週水曜日) ケース検討、部会内容、地域課題の検討等。他、各部会の担当として執行部参加。</p> <p>◇相談支援事業所連絡会(5、6、7、10、11、2月は定例、9、11、12、1月はスキルアップ研修と兼ねて実施)</p> <p>4月 誰でも研修会(2回)</p> <p>■運営部会(部会長他) 年7回(協議会運営について)、5月担当者打合せ会</p> <p>■専門部会 [6部会] こども・しごと・かつどう・くらし・けんり・当事者(昼の部・夜の部) 毎月1回程度、開催 内容(作成物・行事含む)は、部会ごとに決めている。</p> <p>■委員会「地域でいこう委員会」「医療的ケア支援委員会」月1回</p> <p>■研究会「共に暮らすまちづくり研究会」タウンミーティング(2回)11/2(木)70名トイゴ、3/17(土)54名若里市民文化ホール、研究会(7回)</p>
評価	<p>[協議会の機能]</p> <p>①情報機能 ケアマネ連絡会作成のふくしネット情報により他の部会の活動状況がわかりやすいと好評。情報ツアー、通所施設ガイドブックの長野市役所HPアップ(写真部分除く)。地域活動支援センターリーフレット作成中。</p> <p>②調整機能 主に、委員会で具体的なケース調整が行われた。</p> <p>③開発機能 長野市の財政の関係もあり、予算の掛かる提言について実現するのは難しいと言われてきている。ここ数年、提言されたものが形になることがなかったが、くらし部会の提言「移動支援事業サービスのガイドライン作成」が、実現に向け取り組まれている。大きな成果である。</p> <p>④教育機能 関係・関心のある部会に参加することができるようになり以前に比べ、充実したように思われる。反面、意識の差が感じられる。業務を抜けてでも参加するメリットを考えたい。またスキルアップ研修では、様々な職種の人と一緒に学習できる形を取ったため、視点の違いなど気付きを得ることができたのではないかと思う。</p> <p>⑤権利擁護機能 けんり部会の出前ミーティング(年1回)、共にくらすまちづくり研究会のタウンミーティング(年2回)など福祉関係者以外への啓発活動も行うことができた。また、差別解消サポートセンター相談員による講習を行う部会もあった。ふくしネットフェスタは、内容の工夫がされ昨年よりも多くの来場者があった。</p> <p>⑥評価機能 第5期長野市障害者(児)福祉計画の見直しを積極的に取り組んだ。</p>
課題	<p>1) ネットワークが大きくなりすぎたことにより、課題の抽出や改善に向けた検討が十分にされていない。</p> <p>2) 部会員から、ふくしネットの運営や目的に関することへの疑問点が出されている。</p>
次年度への具体的な取り組み内容	<p>平成29年度の課題を受け、平成30年度から長野市障害ふくしネット(協議会)の運営の仕組みが変わることになった。コーディネートプラザながのは事務局の一部委託となり、事務局の主は市で担う。またこれまでの運営部会が部会長連絡会となり、協議会の運営を考える組織として運営委員会が設置された。仕組みを変え、これまでの協議会の事業を整理・再編する中で見直し、主体的に参加し活動してもらえ協議会、地域に目を向け還元できる協議会となるよう、市と協力しながら、協議会をサポートしていきたい。</p>

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害者(児)サービス等利用計画受付業務(長野市委託事業)
施設の名称	コーディネートプラザながの
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5

2 事業報告

営業日及び営業時間	ケアプラン提出時間 平日 9:00～17:30
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	2人 窓口での受取りはプラザ職員で行った。
利用対象者	主として長野市ケアプラン作成事業登録ケアプランナー及びその事業所
利用者の状況	H29年度実績 長野市ケアプラン 0件 計画相談 3,241件 計画相談モニタリング 4,264件
送迎	無
車輛の利用状況	
利用の料金・費用	「コーディネートプラザながの」でのやり取りは無し
具体的な事業内容	<p>(1) 計画相談に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業所より提出された計画相談を受領し(データと書類)、提出書類の確認と受付簿作成。書類は市担当者別に分け提出。 内容確認の審査書類の作成。 <p>(2) ケアプラン審査に関する準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ケアプランの審査は月4回ケアマネ連絡会時に行う。審査の中立性と公正性が保たれるよう審査用の書類を作成しケアマネ連絡会に提出。(窓口での受け取り⇒書類作成⇒審査) 審査された書類の受け渡しと結果連絡(審査結果⇒長野市⇒各事業所へ) <p>(3) ケアプラン作成事業及び指定相談支援事業の推進・充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的で開催されるケアプランナー・指定相談支援事業所連絡会に協力。グループワークや学習会、ケアプラン・サービス等利用計画作成に関する研修会が連絡会で実施されており、協力する中で推進・充実を図る。 その他状況に応じて市や相談員と連携を図り、相談支援専門員、ケアプランナーの支援に協力する。
評価	<ul style="list-style-type: none"> 受付件数、USBの預りと返却の有無を記載し、個人情報保護のために注意し受付業務を行った。 長野市外の方の計画相談や提出書類の不足等は作成者へ連絡をとり確認を行った。 受付後の書類は1週間に1回長野市・篠ノ井分室分へ書類を届けるよう定着できた。 ケアマネによる計画相談内容確認の抽出審査会は今年には行わなかった。 長野市ケアプランの提出件数は0件。
課題	<ul style="list-style-type: none"> サービス等利用計画の書式を、ふくしネットホームページで提供していたが、分かりづらい。またダウンロードが出来なくなっていた。 サービス等利用計画の必要書類や提出時期等問い合わせがあっても、ケースや市CWとのやり取りで違ってくるため対応できず、市に直接問い合わせをお勧めした。 サービス等利用計画のデータ保管の必要性。
↓ 次年度への具体的な 取り組み内容	<p>長野市委託業務終了。平成30年度は市にサービス等利用計画受付業務が移ることとなった。サービス等利用計画の書式については、市ホームページにて掲載していく。個人情報等含まれるデータの処分方法については、今後市からの指示に従う。これまでの取組の中で、市から情報提供を求められた際には対応していく。</p>

H29年度 長野市障害者(児)サービス等利用計画受付業務 (事業所 月別実績)

事業所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
1	ジェイハート特定相談支援事業所	計画相談	2	3	3	4	6	5	5	2	2	5	5	3	45
	モニタリング	12	7	0	6	13	9	7	8	4	9	1	9	85	
2	指定特定・児童相談事業所 あすなろくらぶ	計画相談	8	7			15	10	7	5	3	9	6	23	93
	モニタリング	9	10		1	20	17	15	10	17	12	12	16	139	
3	労協ながの介護支援センター	計画相談	1	1	2	1	2	1	1			1	1		11
	モニタリング			1							1	0		4	
4	障害児者地域生活相談室 ベターデイズ	計画相談	27	29	38	41	34	47	50	28	54	42	29	39	458
	モニタリング	11	26	30	30	29	24	33	19	30	23	25	14	294	
5	地域生活相談室ベターデイズ権堂分室	計画相談	12	11	17	19	11	8	10	21	19	5	17	18	168
	モニタリング	5	3	19	6	22	31	5	24	18	20	15	5	173	
6	ほっとらいふ相談室 桃の郷	計画相談	21	27	35	33	41	34	40	21	40	23	20	24	359
	モニタリング	52	48	38	59	38	38	38	40	78	41	48	46	564	
7	児童発達支援センターにいいるキッズらいふ	計画相談	7	8	2	10	14	7	6	9	15	9	5	32	124
	モニタリング	10	9	4	12	13	7	12	8	15	10	7	14	121	
8	長野市篠ノ井愛の樹園	計画相談	7	12	8	2	3	10	3	1	7	12	11	8	84
	モニタリング	2	6	15	3	25	27	15	24	20	40	2	30	209	
9	希来里	計画相談	12	4	6	5	6	4	10	6	15	8	15	4	95
	モニタリング	16	10	12	14	14	6	6	18	7	9	13	23	148	
10	皆神ハウス相談室	計画相談	28	29	39	28	24	19	42	21	40	19	20	30	339
	モニタリング	49	27	50	63	62	27	66	56	69	53	64	55	641	
11	さくら相談支援センター	計画相談	6		4	1	10	7	2	7	3	5	5	8	58
	モニタリング	13		3		16	11	5	6		5	6	9	74	
12	まいすてっぷ相談支援室	計画相談	8		10	10	11	6	10	4	14	4	5	9	91
	モニタリング	3	2	18	12	10	7	8	14	15	12	13	17	131	
13	相談支援事業所 おたすけぴあっと	計画相談	27	29	22	24	26	20	26	13	37	24	25	31	304
	モニタリング	49	50	39	52	39	54	42	43	52	30	39	44	533	
14	相談支援事業所コーディネートプラザながの	計画相談													0
	モニタリング														0
15	ウイズ相談支援センター	計画相談	4	12	16	16	6	10	8	9	17	3	8	16	125
	モニタリング		1	0	2	6	3	5	1		4		1	23	
16	あいくる	計画相談	10	7	11	12	9	15	9	6	10	17	6	4	116
	モニタリング	7	6	12	5	11	17	11	13	14	7	15	13	131	
17	ライフサポートりんどう 相談室	計画相談	14	22	27	29	19	24	14	30	37	13	37	19	285
	モニタリング	30	24	44	40	39	22	17	31	45	23	38	21	374	
18	エコーンファミリー	計画相談	7		5		14	8	15	1	4	6	6	8	74
	モニタリング	3		3		20	8	20	5	6	10	10	10	95	
19	地域生活支援センターCoCo	計画相談	3		7		13	5	7	7	2	8	11	10	73
	モニタリング	4	4	8	3	9		6	7	5	4		1	51	
20	アトリエCoCo	計画相談													0
	モニタリング														0
21	キッチンCoCo	計画相談		2		1	1	5	2	1		1		2	15
	モニタリング	1			5	4	2						2	14	
22	CoCoJAVJAV	計画相談													0
	モニタリング														0
23	歩楽里	計画相談	4	18	19	17	12	15	15	9	15	7	20	20	171
	モニタリング	14	25	25	25	26	16	22	23	34	9	25	19	263	
24	水内荘	計画相談			3	1	1		1	2			1	1	10
	モニタリング	3	1	5	3	1	5		3	1		2	4	28	
25	株式会社 介護のおお岡	計画相談		1	0			2			1		2	1	7
	モニタリング		3	3	5		2	10	4	5	4	3	3	42	
26	長野県立総合リハビリテーションセンター	計画相談		2	4	3	9	4	3	6		6	4	2	43
	モニタリング	6	1	4	4	1	5	1	8		4	6	4	44	
27	ヒューマンネットながの指定相談支援事業所	計画相談	8	2	6	8	5	3	1	4	1	6	2	5	51
	モニタリング		3	1	2	1	2	6	2	2	3	3		25	
28	えにし 北長野事業所	計画相談	2	1		3	2	2	3		3	1	1		18
	モニタリング	4	7		5	3	3	3		3		2		30	
29	ポーチ有旅の丘	計画相談	3		5		4	4	2	1		3		2	24
	モニタリング	2		1		3	3	3	5	3	1	3	4	28	
30	地域相談支援センターGland	計画相談	2	6	1		11	5	1		3			29	
	モニタリング	5	8			20	3	3	2	3	10	3	3	60	
31	希望と微笑みぐらん	計画相談													0
	モニタリング														0
32	インフィニティ相談室	計画相談						4	3	4	3	2	1	17	
	モニタリング							5	2	9	7	1		24	
合計	計画相談	223	233	290	268	309	280	297	217	343	243	264	320	3241	
	モニタリング	310	281	335	357	445	349	366	376	455	351	356	367	4264	
	合計	533	514	625	625	754	629	663	593	798	594	620	687	7505	

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市リフトバス車両運行管理業務
施設の名称	コーディネートプラザながの
施設の所在地	長野市川中島町今井1387-5

2 事業報告

営業日及び営業時間	リフトバス運行 利用時間 1日8時間程度(原則8:30~17:00)
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	車両管理責任者 1人 ほかに1人
利用対象者	長野市に住所を有し、障害者手帳の程度が下肢又は体幹の機能障害3級以上の車いす使用者を2名以上含む団体またはグループ。
利用者の状況	H29年度利用状況 ・登録団体58 ・運行回数173回
送迎	無
車輛の利用状況	
利用の料金・費用	一般の運行に関しては無料。高速道路など発生した料金は別途実費徴収
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ①管理車両の運行計画の作成(予約受付等) <ul style="list-style-type: none"> ・利用予約は3ヶ月前からとし、1団体1ヶ月2回、年間10回の利用を限度に、利用月の前月20日を締切りとし、予約受付。 ②管理車両の点検整備及び清掃の委託((株)アリーナとの連携) <ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月点検、車検、リフト点検(年1回)の実施。市へ報告。 ・故障時修理。 ③管理車両運転に関して((株)アリーナとの連携) <ul style="list-style-type: none"> ・予約受付後、運転日報、受付簿、利用申請書をアリーナ、市へ提出。利用経路等変更はその都度連絡。 ④管理車両の駐車管理に関すること。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市リフトバス利用にあたっての留意事項の他に、今年から座席図面を障害福祉課ホームページに掲載し利用方法がより明確に出来た。 ・電話予約後の利用申込書の提出期限を守らない団体、記入漏れが多い団体への対応が難しい。 ・申込み締切り後の利用希望団体等については、市とアリーナの了解を得て対応できた。 ・利用団体から運行中の苦情連絡を受け、(株)アリーナと今後の対応について検討。 ・連続した運行状況の運転手の負担を考慮し、バス保管場所の検討を行った。(仕様書に桃の郷以外の場所へ保管する場合の詳細を定め、保管可能とした)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用行程の変更申請方法の検討。(当日利用行程が申請と違うと指摘を受けた事があったため、変更の際の確認方法等について) ・特例として認められる利用時間及び運行範囲についての対応等。 ・利用申込書の記入方法についての確認。 ・長野市イベント関連の利用の考慮。
↓	
次年度への具体的な 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用される方は障害があるだけではなく高齢となっている方もおり、文字がうまく書けない方や外出先の情報が得にくい方もいる。団体や団体代表者の事情を考慮しながら電話等で状況を伺い、出来る情報提供を行い、時には(株)アリーナの協力も得ながら、円滑に申し込めるように配慮していきたい。 ・申込等手続きが滞ったり、手違いがあることで、バスの運行を委託している(株)アリーナに迷惑が掛からないよう、お互いに連絡を取れる体制をとっていく。 ・利用団体からの要望・疑問等は、出来るだけ障害福祉課担当者や(株)アリーナと相談しながら対応していく。またルールが必要なものであれば障害福祉課と相談しながら、少しずつ整えていく。

H29年度 リフトバス運行状況

	運行回数	利用団体	月間走行距離(km)	乗車人数(人)
4月	15	14	2,191	147
5月	17	15	2,315	181
6月	18	16	3,332	162
7月	16	15	2,935	137
8月	13	12	2,272	121
9月	19	19	3,425	163
10月	27	24	4,191	224
11月	17	16	2,603	131
12月	6	5	1,001	57
1月	7	7	1,059	60
2月	7	6	965	45
3月	11	8	1,082	88
合計	173	157	27,371	1,516

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害者相談支援事業(市委託)
施設の名称	まい・すてっぷ相談支援室
施設の所在地	長野市栗田1038-8 ゆたかビル1階

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～金(祝日、12/29～1/3を除く) 8:30～17:30
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	管理責任者 1人 長野市障害者相談支援センター 相談員 1人 ピア・カウンセラー 1人
利用対象者	長野市内に住む障害児者・家族、関係機関等
利用者の状況	長野市障害者相談支援事業 登録者286名 (内訳:身体障害 57名/知的障害 56名/精神障害 89名/ 発達障害 64名/重症心身障害 15名/その他 5名) ※長野市障害者相談支援事業の相談実績については別添資料の通り
送迎	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有()
車輛の利用状況	家庭訪問・支援会議・会議出席等に公用車1台、公用車登録の自家用車1台を利用
利用の料金・費用	無料
具体的な事業内容	「長野市相談支援事業仕様書」に基づき ①個別ケースの相談支援(特に福祉サービス利用につながるまで/サービス利用後は、必要に応じて相談支援専門員のバックアップ) ②相談支援機能強化事業:対応困難ケース、長野市自立支援協議会(長野市障害ふくしネット)の運営への参加 ③住宅入居等支援事業:住宅支援に関わる支援 ④成年後見制度利用支援事業:成年後見制度の利用に関する支援
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・一般相談の年間の新規ケースは62件であった。手帳の取得や障害年金の申請支援など、福祉サービスの利用に至る前の相談や、サービス利用につながらないが支援が長期にわたって必要なケースが主になっている。以前関わったケースが、数年経ち、再び相談につながってくることもあるため、サービス利用に至らない方たちの相談窓口としての必要性を感じる。 ・家族全体に支援が必要なケースも増えており、多様な関係機関(障害福祉以外にも児童福祉関係、包括支援センター、保健センター、就労関係、司法等)との連携となっている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要だがつながっていないケースの掘り起こしには、なかなか手がつけられずにいる状態が続いており、長年の課題である。 ・障害福祉サービスだけでは解決(改善)しない課題も多く、対応できるだけの知識や関係機関との関係作りが必要。福祉サービス以外の支援機関や地域の資源などの情報を知り、関係を作っていくことで、サービスだけで完結しない地域での生活を考えていきたい。
↓	
次年度への具体的な 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助技術やスーパーバイズについては、障害者相談支援センター相談員の会議(ケアマネ連絡会)や各種研修への参加などで積極的に研鑽していく。 ・地域の関係機関(包括支援センター、保健センター、住民自治協、福祉ワーカー等)への巡回を積極的に行い、地域の課題や支援が必要なケースの掘り起こしを行う。担当地区も増えるため、新たな地区の関係者へのあいさつや巡回などを行う。

(報告様式)

障がい者総合支援センターの利用者及び相談支援の状況 (H29)

センター名: 長野市障害者相談支援センター まい・すてっぴ相談支援室

1 障がい種別登録者数 (実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
72	56	89	64	5	286
視覚障がい者				高次脳障がい	
3				1	
聴覚障がい者					
3					

2 障がい種別相談延べ件数

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
264	692	903	454	7	2,320

3 支援方法別相談延べ件数

訪問	来所	電話	電子メール	個別支援会議 (ケア会)	その他	合計
159	113	523	454	182	889	2,320

※その他には関係機関との調整 830件含む

4 相談の内容 (複数回答あり)

相談内容	延べ件数	割合
福祉サービスの利用	830	21.54%
社会資源の活用		
障害や病状の理解	276	7.16%
健康・医療	95	2.46%
不安解消・情緒安定	664	17.23%
保育・教育	34	0.88%
家族関係・人間関係	532	13.80%
家計・経済	253	6.56%
生活技術	506	13.13%
就労	268	6.95%
社会参加	157	4.07%
余暇活動		
権利擁護	12	0.31%
その他	227	5.89%
合計	3,854	100.00%

※ 把握している範囲で結構です。

チェック欄

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	①指定(特定・一般)相談支援事業(法定) ②長野市ケアプラン作成事業(委託)③障害支援区分認定調査
施設の名称	まい・すてっぷ相談支援室
施設の所在地	長野市栗田1038-8 ゆたかビル1階

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～土(祝日、12/29～1/3を除く) 8:30～17:30
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	所長 1人 相談支援専門員及びケアプランナー 2人
利用対象者	長野市内に住む障害児者・家族、関係機関等
利用者の状況	●指定特定相談支援事業 計画相談作成ケース 72名 (内訳:身体障害者 42名/知的障害者 16名/精神障害者 12名/発達障害者 2名) ●長野市ケアプラン作成事業プラン作成ケース 0名
送迎	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有()
車輛の利用状況	家庭訪問・支援会議・会議出席等に公用車1台、公用車登録の自家用車2台を利用
利用の料金・費用	相談・計画相談作成・ケアプラン作成ともに無料
具体的な事業内容	基本方針(障害のある人が生活をしていく中で直面する様々な困難や問題について相談に応じ、長野市でその人らしくいきいきと暮らしていくための支援を行っていく)に基づき、基本相談支援及び福祉サービス等の利用に関する計画相談支援(サービス利用支援・継続サービス利用支援)を行う。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン作成にあたり、支援会議では関係者と意見を出し合うことができた。 ・更新、モニタリングともに、計画的に進めることができた。 ・モニタリングは自宅や事業所で行うことが原則だが、日程や体調の関係で、数名は電話対応となったケースがあった。 ・本人の生活の変化を事業所からの連絡で知ることがあり、定期のモニタリング以外にも訪問や相談、またプラン変更が必要なことがあった。 ・フォーマルなサービスが先にたち、インフォーマルな資源につなげることがなかなかできなかった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス事業所、関係者とのつながりを積極的に作る。(本人の情報や変化への気づきと対応につながる) ・相談支援専門員として知識を向上させたり、情報を知って活かすためには何が必要なのかを考えたい。 ・社会の中の資源について、アンテナをはって情報収集したり、サービスありきではないプランについても考えていきたい。
↓	
次年度への具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者間で情報共有や役割分担を決めることで、より専門的な支援や応援を目指したい。 ・介護保険ケアマネージャーや事業所との意見交換をする機会を持ったり、関係者会議には積極的に参加する。 ・プランの更新期日に追われないように、計画的に準備をする。 ・利用している方からの相談支援専門員への意見、要望を聞く機会を持つ。 ・電話や訪問などで、しっかり話を聞く時間を持ちたい。 ・ケース検討など、複数の目でみる体制を整えたい。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	地域活動支援センターⅡ型
施設の名称	ぴあ・ふれんず
施設の所在地	長野市栗田1038番地8 ゆたかビル1階

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～土(祝日、年末年始除く)10:00～17:00 実開所日数:276日※月曜は10:00～15:00 15:00～ミーティング
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	管理責任者 1人 主任・支援員・相談支援専門員 1人 支援員・ピアカウンセラー 1人 支援員・相談支援専門員 1人 支援員 2人
利用対象者	身体障害者を中心に三障害受け入れ
利用者の状況	登録:身体障害者67名 知的障害者10名 精神障害者36名 なし2名 (延利用人数3081名)
送迎	なし
車輛の利用状況	クリッパー(軽車輛:H25.1登録)職員移動のみ利用
利用の料金・費用	無料(活動内容により実費負担)
具体的な事業内容	<p>・事業内容</p> <p>①基礎的事業…創作的活動、生産活動の場の提供・支援等(パソコンを使う、手工芸の活動、料理の体験、DVD鑑賞等)、生活リズムの見直し、計画の支援、視覚障害者支援(場所提供等)</p> <p>②機能強化事業…ピアカウンセリング、訓練的サポート(生活技術定見、学習)、外出支援、就労支援(勉強会等)、相談によるサポート、地域活動参加(研修、講演の呼びかけ)、大学生介護等体験受け入れ</p> <p>・1日の流れ</p> <p>10:00～12:00と13:00～15:00企画を含む日中活動、15:00～17:00フリー※日中活動は個人で決める。</p> <p>・開館日および開館時間</p> <p>祝祭日を除く月曜日～土曜日(企画により閉館あり)</p> <p>月10:00～15:00(15～職員ミーティング) 火～土10:00～17:00</p> <p>・歳末たすけあい募金特別配分金申請</p>
評価	<p>・利用者数の増員を目標に、身体障害者を中心として、障害のある方の受け入れを行ってきた。大きく減数することもなかったが、1日平均15人に満たない日も多く、増員にはならなかった。しかし、様々な障害の方が、利用していただき、毎日のように来所してくれる方が増えている。利用者の傾向は、女性が多く、10代から80代まで幅が広く、年代を超えて交流ができることは喜ばれている。毎日の活動は自由に過ごしてもらうので、人数はばらつきがあるが、外出企画は大勢の方が参加し、とても楽しみにしてもらっている。</p> <p>・事業所の雰囲気は静かなのが良いと聞き、他の事業所との併用をする人も多い。利用の方々は、自分のペースを守り、周囲に迷惑をかけないように各々で活動しているため、トラブルが起きることもなかった。</p> <p>・将来、一人暮らしを目指す方の講座や、勉強会が好評だった。また、家以外の場所としての時間を持ち、生活リズム作りの1歩として過ごす方も多く、居場所として定着しつつあると感じた。</p> <p>・活動の場の提供としてはできたが、社会的な経験や自立に向けての体験としては、もう少し多くの提案ができるとよかった。</p>
課題	<p>支地域活動支援センターの意味、活動の不明瞭さ、事業所の特色など、利用する方に伝わらないことで利用から離れてしまった事。まだ地活の存在や支援内容を知らない方が多い。『知ってもらう』『来てもらう』をまず目指して、事業所情報の発信を行っていく必要がある。また、支援者側の障害理解の学習、支援方法のスキルアップに努めるため、各種勉強会の参加、支援の中を広げるために、地域団体、市、法人本部など関係機関と連携をとり、支援体制を整えていく事が求められる。</p> <p>事業所では、当事者の思い、支援への希望を聞き、一緒に考え情報や選択肢を提供していく。一人一人が具体的な目標を掲げた「個別支援計画」をできるだけ作成し、1つ1つ結果を積み重ねられるような場になる。</p>
次年度への具体的な取り組み内容	<p>☆自立生活応援コース(学習会)を実施 一人暮らし、自立生活を目指す皆さんが必要とするプログラムを集約し、企画。外部からの専門家も招待し広く周知し、多くの人に参加してもらう。</p> <p>☆仲間同士で交流・情報交換・情報発信できる場を作り、お手伝い 来所することの難しい方のために、場所を移して実施できる機会を設ける</p> <p>☆視覚障がい者支援の会に協力する ボランティアの養成とボランティア団体のネットワークを作り、定期的に情報交換・場所提供をし、支援の基礎を作る。点字プリンター、デジタイザーなどの機材の取り扱いを支援者が身につけ、紹介できる場を設ける。</p> <p>☆地域活動支援センター同士の交流を呼びかける。</p> <p>●地活利用者と利用の目的・方向を一緒に考えていく。</p> <p>●地域団体、公民館、関係機関への通信の配布・地域行事への参加</p>

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	生活介護
施設の名称	ぴあっと
施設の所在地	長野市箱清水2丁目11-2

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～土 9:00～16:00
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	所長兼サービス管理責任者 1人 生活支援員 9人 看護師 2人
利用対象者	身体、知的、精神
利用者の状況	身体24名、知的10名、精神11名
送迎	有り、他マイカー1名
車輛の利用状況	送迎用 : キャラバン1台、クリッパー1台、アトレー1台、ノア1台
利用の料金・費用	サービスに要した費用の原則1割、または利用者本人等の負担能力に応じ、市町村が定めた額プラス実費(昼食代350円とお茶代50円)
具体的な事業内容	生活介護事業・・・入浴、食事、排せつ介助の支援、日中活動、行事の提供 ≪日中活動では≫ TV体操、歩行練習、立ち上がり練習、PC、カラオケ、塗り絵、デッサン、おやつ作り、ペーパークラフト、籐工芸、編み物、裁縫、キーホルダー作り、 ≪日中外出、行事≫ SBC外出、ラーメン屋台、回転ずし、唄ボランティア、紙芝居ボランティア、近隣の散歩 善光寺仲見世、城山動物園、新町道の駅、菊花展、もみじ狩り、須坂臥龍公園、クリスマス会、新年会(ぐーとランチ)、豆まき(善光寺) ≪一日行事では≫ 飯山まゆみ美術館、上田城址公園ツアー、黒姫美術館ツアー、飯山菜の花公園
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんのニーズは入浴と外出希望が大半を占めている状況。29年度は外出行事に力をいれ支援を行った。ぴあっとの環境を活かし散歩や外出企画を多く行い、ニーズに応えた活動ができた。 ・今まで行っていた創作活動にプラスし籐工芸、ペーパークラフト、編み物、キーホルダー作りを行う。びんずる市に出展する目標を掲げて楽しみ、遣り甲斐が持てる支援ができた。 ・新規利用者も増え利用をお断りしている曜日もある状態となっている。給付額が上がり1年トータル赤字を解消することができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の給付額を継続していく。 ・ぴあっとのアピールポイントは場所を活かした外出となっている。利用者のニーズに合わせた外出、行事を継続して行っていく。 ・ぴあっとを多くの方に周知してもらおう。 ・職員の増員と介護技術の育成、各障害に関する教育を行う。
↓	
次年度への具体的な 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校の保護者や相談支援専門員にぴあっとをPRしていく。 ・昨年度に引き続き、日中活動、行事を利用者のニーズに応えられるように企画・活動を行う。また、利用者に定期的にモニタリングをしていく。 ・利用者の増加に伴い職員数の確保を行い、基本的情報と実技的な介助方法や利用者への接遇の研修を行い育成する。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	生活介護
施設の名称	ぴあっと・まつおか
施設の所在地	長野市松岡1丁目13-11

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～土 9:00～16:00
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	<p>所長・サービス管理責任者兼務 1人 主任 1人 アドバイザー 1人 生活支援員 5人 看護師准看 1人 看護師正看 1人 運転手 1人</p>
利用対象者	身体、知的、精神
利用者の状況	身体35名、知的4名、精神2名、重心3名 合計44名(内気管切開3名)
送迎	有り
車輛の利用状況	送迎用キャラバン3台、ハイゼット2台(全車輛車椅子可)
利用の料金・費用	サービスに要した費用の原則1割、または利用者本人等の負担能力に応じ、市町村が定めた額プラス 実費(昼食代150円・お茶代50円等)
具体的な事業内容	<p>生活介護事業・・・入浴、昼食、排せつ介助、日中活動、行事の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中活動では、体操、口腔体操、歩行練習、風船バレー、PC、ピアノ、カラオケ、音楽療法、塗り絵、ハガキ作り、貼り絵、折り紙、カードゲーム、ボーリング、スポーツ移動教室、地域ボランティア ・行事では、お花見外出、ボーリング大会、七夕まつり見学、夏まつり(スイカ割、輪投げ等)、バスハイク、ミニ運動会、クリスマス会、回転寿司食事会、節分・ひな祭り会 ・年2回の避難訓練を5月11日に実施 ・医療ケア者の受け入れ
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年4月現在、1日あたりの平均利用者数14,8名から、H29年3月現在の平均利用者数16名まで上がった。給付額についてもH29年4月分の365万からH30年3月で421万まで増額している。新規利用者に稲荷山養護学校の卒業生を受け入れ行い養護学校と事業所間の関係が定着しつつある。 ・医療ケア利用者の受け入れ態勢をとり、新規利用へと繋がった。 ・職員状況については、1名のパート職員が嘱託。 ・所長・主任変更 ・介助中の事故が3件あった。そのうち1件は結果的に大きな怪我にはならなかったが、受診し、保険会社で対応した。 職員(同じ職員)の危機意識不足で教育が足りなかった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルUP ・介助者の危険行為を無くし、利用者に安心・安全に利用して頂く。 ・H30年度に1名の看護師が定年退職予定の為、早急に1名の看護師採用 ・生活支援員・看護師不足
次年度への具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新人介護職員の教育を「障がい福祉サービス従事者新人研修」の受講で行う。 ・毎月の職員研修・ミーティングにおいて基本情報と実技的な介助方法を伝え、共有していく。 ・ハローワーク、求人広告で人材募集を早急に行う。正看護師・介護職員初任者研修終了者の採用を行う。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	就労移行支援
施設の名称	はたらくびあっと
施設の所在地	〒380-0801 長野市箱清水2丁目15番21-2号

2 事業報告

営業日及び営業時間	営業時間 月～金 9:30～16:30
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	管理者・サービス管理責任者 1人 主任・就労支援員 1人 職業指導員 2人 事務・職業指導員 1人 生活支援員 1人
利用対象者	3障害
利用者の状況	精神 1名、発達 1名 新規契約6名、就職 1名、就労継続支援B型へ移行 5名、契約終了 2名
送迎	有 (主に身体を対象として)
車輛の利用状況	送迎 日産セレナ1台、キャラバン1台
利用の料金・費用	障害者総合支援法に定められたとおり
具体的な事業内容	<p>【就職支援】利用者個々に合わせ、就労へ向けた計画を立て、作業や訓練を通して必要な知識や経験を積み、自信を持って就労に向き合えるよう支援を行った。IT機器を中心とした訓練では、各種アプリケーションの習得、実践を行った。具体的な就職支援では、就職相談会やハローワークに同行し、ご本人の希望に合った就職先を探し、履歴書作成のアドバイス、模擬面接を行ったり、短期トレーニングを利用し、実際に希望する企業で実習を行った結果無事採用となった。また、クローズ希望の方にはより実践的な事前指導を行い「私はもう障害者ではありません」という言葉を引き出し、採用へとつながった</p> <p>【実践的な訓練】印刷(大判・名刺・チラシ・箔印刷)、カッティングシート、データ入力、ゴム印・年賀状・パンフレット・メタルアクセサリ等の作成(一般・行政、法人内からの受注)。</p> <p>【健康管理支援】個々の面談において健康状態や精神状態を把握し、健康の保持増進および精神的安定を図れるよう、利用者と共に健康管理について考え、相談に応じた。</p> <p>【生活支援】利用者が安定して通えるよう健康、食事面の指導を行った。社会人としての自覚をもち規範意識を持てるよう継続的に支援した。</p>
評価	<p>【就職状況】身体障害の利用者1名がNTTデータ主催のe-Leaning受講を通じNTTデータだいちへの就職に結びついた。</p> <p>精神障害の利用者2名が短期トレーニング、ハローワークの協力を受け就労が決まった。うち女性1名はクローズでの就労となったが現在も安定して勤務している。男性1名は知的もあるが物流会社に就職し、専用端末を使いこなし現在も安定して勤務している。引き続き定着支援を通じより長い期間就労を続けられるよう、企業内でのサポートが問題なく受けられるよう指導、活動を続けた。</p>
課題	<p>確実に就労へつなぐことができる「能力」のある利用者を勧誘することも必要だが、利用者個々が持っている「強み」を引き出し、そこをのびし、マッチした企業と結びつけることを積極的に進めたい。ハローワークに登録していない企業へも積極的に出向き、障害者就労の実際、可能性を訴え理解を進めたい。</p>
次年度への具体的な取り組み内容	<p>今まで積み上げてきた就労実績を各方面へ発信し「就労に強い事業所」というイメージ、情報発信をしてゆく。はたらくびあっとの持つ強み「チーム支援」をさらに強いものとするため職員間の情報共有、利用者との信頼関係の強化、支援技術の向上を進める。</p>

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	就労継続支援B型
施設の名称	はたらくびあっと
施設の所在地	〒380-0801 長野市箱清水2丁目15番21-2号

2 事業報告

営業日及び営業時間	営業時間 月～金 9:30～16:30
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	管理者・サービス管理責任者 1人 職業指導員 2人 生活支援員 2人
利用対象者	3障害
利用者の状況	身体 9名、精神 12名 新規契約2名、就労移行から移行5名、契約終了7名 就職1名
送迎	有(主に身体を対象として)
車輛の利用状況	送迎 日産セレナ1台、キャラバン1台
利用の料金・費用	障害者総合支援法に定められたとおり
具体的な事業内容	<p>【仕事の受注】外部からまたは行政、法人内から大判印刷やゴム印、データ入力など、パソコンを使用する仕事を受注。</p> <p>【主な仕事内容】印刷(大判・名刺・チラシ・箔印刷)、カッティングシート、データ入力、ゴム印・年賀状・パンフレット等の作成(一般・行政・法人内からの受注)。</p> <p>【スキルアップの為に支援】パソコンの基礎的な技術を確実に身に付けていけるように支援し、実践の中で臨機応変な対応力を養い、また社会的技術向上に向け、多方面からの支援を行った。</p> <p>【就労支援】就労移行の期間を終えB型に移行された方も増え、引き続き希望に沿った就労を目指し、必要な訓練や、就労に向けての相談に応じ、支援を行った。</p> <p>【健康管理支援】個々の面談において健康状態を把握し、健康の保持増進を図るため、利用者と共に健康管理について考え、相談に応じた。</p>
評価	<p>【利用状況】29年3月の時点で19名の利用。3月までに就労移行からの移動は1名、新規利用者2名が増た。就職で1名、利用終了で2名が減った。登録人数は28年度3月期が23名だったが、精神的に安定された方が増え、デリからの美味しい昼食目当ての方も増え利用率があがった。</p> <p>【仕事内容】優先調達の関係で官公庁からゴム印の仕事をいただけるようになったが、レーザー一切削器が寿命を迎え故障したので、今後の受注はしないこととした。大判印刷は定期的な受注に加え、新規顧客が若干増えた。データ入力は、既存の仕事に新規受注先も増え、利用者の方にやりがいを持ってやっていただけた。</p> <p>【工賃支払】通所日数が多く、たくさんお仕事をさせていただいている方は全国平均以上の工賃をお渡しできているが、週1程度の利用だったり、パソコンの技術が未熟でお仕事をお願いできない方などは工賃額が非常に低い状態である。利用日数が少ない方が多い為、平均すると工賃が低い状況となってしまう。</p>
課題	<p>徹底したチーム支援の結果精神状態が安定し、出席率が目に見えてあがった。作業種を増やし、各自やりがいのある仕事を確保し、モチベーションを高め、安定した通所につながるよう支援を続けていく。また、相談支援事業所や養護学校にもアピールできるような魅力ある事業所となり、利用者を増やせるようにする。そのための情報発信を積極的に行う。作業種が少なく高度なスキルを求められる仕事が多く、やる方が限定されてしまっていたが、一人一人に合わせた作業が確保でき、職員が適切な支援をしながら良い仕事ができるよう見守れる体制が必要。工賃が低い状況の為、工賃アップの施策、仕事量が必要。</p>
次年度への具体的な取り組み内容	<p>カフェを閉め、昼食提供に特化した。そのため午後はスタッフの手が空くため、データ入力、正確な作業ができない方々への支援として手芸や工作を見るようにしている。その効果で通所率が上がり、仕事へのモチベーションがアップ、「作業をしたい」という申し出が増え、良い効果が生まれている。就労移行の期間が終了し、B型に移られた方がいるが、引き続き就労への技術を磨き、技術を身に付け、積極的に就労に向けた情報収集を行い、就労に結びつくよう支援を続けたい。B型から就職をされた方もいらっしゃるので、就労の可能性が高まった方で、可能であれば就労移行支援への移行を検討し、より良い支援につなげたい。</p>

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	訪問介護事業 居宅介護事業 同行援護 移動支援事業
施設の名称	訪問介護事業所 おたすけ・ぴあっと
施設の所在地	長野市大字高田川端西沖 941-5

2 事業報告

営業日及び営業時間	月曜日～日曜日 8:30～17:30 (電話により24時間連絡可能)
職員配置 (職名・氏名) 責任者名 (役職)	主任・サービス提供責任者・訪問介護員 1人 サービス提供責任者・訪問介護員 1人 訪問介護員 3人 事務職員 1人
利用対象者	居宅介護：身体・知的・精神障害者 訪問介護：65歳以上の要介護者、また40歳～64歳の特定疾患をお持ちの要介護者
利用者の状況	訪問介護：10名 居宅介護：44名 同行援護：25名 移動支援：26名
送迎	無 () 有 ()
車輛の利用状況	公用車 (ミラ1台)
利用の料金・費用	居宅介護：利用者の負担能力に応じ市町村が定めた額 訪問介護：サービス費用の1割または2割
具体的な事業内容	事業内容として ①担当者会議、個別支援計画書作成、モニタリング、サービス調整 利用者が在宅において日常生活を営める事ができるように支援していく。利用者の置かれている環境・状況に応じて身体・生活面の援助・外出時の支援等を適切に行う。利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援を心掛ける。 ②給付・請求書・法定代理受領作成、発行 ③毎月サービス状況報告書を作成し、ケアマネージャー・ケアプランナーに情報提供、及び虐待が疑われる場合は通報する。 ④営業による新規獲得。
評価	①毎月1回、定期的にミーティングを開く事により、ヘルパーのスキルUP向上を目指したり、支援に対する情報交換の場を設ける事で適切なサービス提供に繋がっている。そして、ヘルパー一人一人の意識向上にも繋がった。常に報告・連絡・相談の情報交換ができる環境作りを心掛けており、利用者の立場に立った支援ができています。 ②請求書・法定代理受領書は毎月15日に届くように作成、発送できた。 ③毎月サービス状況報告書を月末に作成し、月初にケアマネージャー、ケアプランナーに情報提供する事で関係者間との連携が取れた。 ④出来る限り、空き時間を減らすようにルート表を確認しながら、営業を行い利用者を増やす事が出来た。
課題	・ヘルパーのサービス向上を目指す為、勉強会や研修会に参加できるようにサービス調整していく。 ・個別支援計画書の作成が円滑に行えるように業務内容を見直し、ヘルパーの増員を行う。 ・常にケアマネージャー、ケアプランナー、他事業所との連携を取り情報交換により適切な支援を継続していく。
↓ 次年度への具体的な 取り組み内容	

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	特定相談支援事業、一般相談支援事業、居宅介護支援、障害程度区分認定調査
施設の名称	おたすけ・びあっと
施設の所在地	長野市大字高田川端西沖941-5

2 事業報告

営業日及び営業時間	月曜日～金曜日 8:30～17:30（年末年始を除く）
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	所長 1人 相談支援専門員 4人 介護支援専門員 1人
利用対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害・知的障害・精神障害のいずれかの手帳を有する18歳以上の障害者 ・手帳を有しないがサービス利用対象者と認める証明のある障害者 ・40歳以上65歳未満の特定疾病者 ・65歳以上の高齢者。
利用者の状況	・障害者計画相談 295 件 ・ 介護保険 14 件
送迎	なし
車輛の利用状況	日産モコ 1台
利用の料金・費用	本人負担なし（提供地域を超える場合は交通費(定額)負担ある）
具体的な事業内容	<p>事業目的 障害者・高齢者、どなたの相談でも総合的に受けられる事業所をめざす。</p> <p>障害者 ・身体障害、知的障害、精神障害の計画相談。 (ケアプランの作成・サービスの調整など、必要に応じて支援する。)</p> <p>高齢者 ・40歳以上65歳未満で特定疾病対象者の2号保険者と、65歳以上の要介護者のプランの作成、サービスの調整、担当者会議の開催、給付管理。障害プランから介護保険プランへの移行の支援。</p>
評価	<p><相談支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、特定事業所加算の申請をおこなったことで、給付請求の目標額が達成できた。 ・特定事業所指定に伴い、困難ケースの新規受け入れが必要項目となり、対応をしている。 ・新規受け入れは個々の相談支援専門員の対応人数や対応ケースを検討し、可能な限り受け入れを行った。 ・各相談支援専門員の担当するケースを、事業所内で概ね把握できるように検討会議を設定し随時確認する体制を整えた。 ・相談支援事業所連絡会や虐待研修、各種スキルアップ研修に積極的に参加したり、他事業所の見学会を定期的に行い知識を増やし業務に反映させた。 <p><居宅介護支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害専従のために介護支援専門員1人体制になった。4人の担当ケースを1人にまとめた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の対応件数は飽和状態であり、今後、新規ケース受け入れが困難な状態になることが予測される。 ・障害区分が身体障害の対応比率よりも、精神障害の対応比率が増加したことで対応時間などの業務量が多い事例が増えた。 ・障害の多様化により、より専門的知識の習得が必要である。 ・地域相談支援や保健医療サービス、その他の福祉サービスの関係者と密接に連携をとり総合的なサービス提供をしていく必要がある。 ・相談事業所として経営的にプラスを目指す為の方法を考えていく。 ・介護保険・障害福祉ともに、めまぐるしい制度の変化に対応していくために迅速な情報収集と法と制度の正確な理解を要する。
↓	
次年度への具体的な 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な業務遂行ができるよう各々随時または必要時に業務検討と見直しを行う。 ・相談援助に関して実践的な知識の習得をめざし、各種研修や学習会に積極的に参加する。 ・利用者の気持ちに寄り添い、業務にあたる柔軟性を持つよう心掛ける。 ・医療やその他福祉、関係機関との連携の重要性を理解し、適正に行える関係性をつくる。 ・24時間の連絡体制、困難事例の対応や事業所内での検討会を継続して行い、特定加算事業所としての役割を果たす。 ・障害から介護保険移行ケースを含め、包括や事業所からの依頼も可能な限り引き受ける。 ・おたすけ訪問と常に連携を取り、毎月定例の勉強会とミーティングを継続する。 ・相談援助の資源として活用できるように事業所見学を隔月実施をする。 ・安定した売上を得るために現状の加算を維持する。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	共同生活援助、短期入所
施設の名称	三津和園
施設の所在地	長野市信州新町山上条1561-1

2 事業報告

営業日及び営業時間	24H 365日
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	管理者 所長 (のんびりほ一むと兼務) 1人 サービス管理責任者 1人 世話人・生活支援員 4人 宿直 3人
利用対象者	障害者(精神・知的・身体)
利用者の状況	7名 (知的)
送迎	有り(利用者外出時(買い物・通院等)送迎実施(燃料代実費利用者負担))
車輛の利用状況	保有車両なし。外出送迎時は、つくし保有車輛を借用
利用の料金・費用	食費、光熱費など自己負担 月額5万～6万円
具体的な事業内容	3障害の方対象で、日中通所に通われる皆さんの、 生活の場としての支援を提供する事業 1、家事等の日常生活の支援 2、食事、排泄、入浴等の介護 3、健康管理、金銭管理の援助 4、日常生活における相談 5、緊急時の対応 6、日中活動にかかわる他の事業所との連絡、調整
評価	・入浴や排泄および洗濯・掃除などの日常生活の支援を行い利用者が安定した日常生活が送れるようにした。 ・身体、精神面の変化が多くみられるなかで、関係機関と連携して支援に取り組むことができた。 ・短期入所を含め必要とされる受け入れを行う事が出来た。
課題	・職員間の意思疎通に課題が多くあった。 ・多くのニーズである余暇支援が不十分だった。 ・以前からの課題としていた職員の世代交代が進まなかった。
↓	
次年度への具体的な 取り組み内容	・職員間のミーティングを密に行い情報を周知徹底していく。 ・事業所内研修の機会を増やしていく。 ・休日の余暇支援に外出活動を増やしていく。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	地域活動支援センターⅢ型
施設の名称	長野市地域活動支援センターⅢ型 つくし
施設の所在地	長野市信州新町山上条1561-1

2 事業報告

営業日及び営業時間	月～金曜日 8:30～16:30 (祝祭日、盆、年末年始を除く)
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	所長 1人 指導員 2人
利用対象者	身体・知的・精神障害者
利用者の状況	現在 6名
送迎	無 有 (現在 月～金 水防会館まで)
車輛の利用状況	3台(エスティマ・軽バン・軽トラ)所有 送迎、農機具運搬
利用の料金・費用	利用の料金は無料 実費負担有り 工賃有り
利用者の工賃	月平均 3,000円
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホーム等の清掃活動(月・水・金) ・農業 (山菜栽培 マキ束作り 水稻 露地物野菜 育成等) ・ガラスハウスを利用した野菜苗 稲苗栽培 ・栽培した野菜等の販売、加工品(実費徴収)の配達 ・歳末たすけあい共同募金 特別配分焼き芋機 保温庫による 焼き物販売 ・歳末たすけあい共同募金 特別配分によるパソコンソフト イラストレーター等 ・歳末たすけあい共同募金 特別配分掃除機によるプール草取り ・パソコン印刷(名刺 年賀はがき ラベル 分館報 等) ・法人内 外の他施設等の草刈り管理 ・事業所内イベント(花見や食事会 販売所視察 等)
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は仕事数が少ないが単純な作業で利用者全員で行うことができた。 ・マキ束作りは、ガラスハウスを利用でき天候に左右されず効率よくできた。 ・稲作は天候不順による稲の発育の遅れがあったり植付量が少なかったが、実りが前年より多く収穫量は例年と同じ程度あった。 ・農作物は天気の影響や人材不足があり、収穫、品質等余り良くなかった。 ・利用者の体調や都合により欠席が多くあり利用者の減少となった。 ・今年は、寒暖の差があったが利用者、職員の健康管理等に、気をつけることができた。 ・利用者の作業能力が下がって来ていて職員負担が多くなった。 ・農作物の収穫など、利用者と一緒に楽しく過ごすことができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・作業が出来ない利用者の増加傾向があり、作業内容等の検討が必要。 ・各種農業の重なりが4, 5, 6, 7, 8, 9, 10月とあり、繁忙期の人員確保が難しい。 ・パソコン印刷のセールス、業務を増やす営業や宣伝が必要。 ・利用者の増減、作業能力や意欲の違いにより、作業人員の確保が難しい。 ・事業が分担するので職員の配置(職員の各自休暇の場合の対応策の検討)。 ・農作物の販売方法 (30年度は、施設等への販売と定期的な販売場所の拡充)。 ・経費が掛かる物に関する節約計画、および実行。 ・利用者の通所(特に作業が出来る)を増やす。 ・利用者の高齢化に伴う施設利用者の減少。
次年度への具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜等の種類を選別し栽培スケジュールを明確にし、作物のロスを最小にする。 ・繁忙期の人員確保を明確にし、予算管理も含め計画する。 ・利用者の個別支援計画を明確にし、計画及び見直しを行う。 ・パソコン印刷業務の営業を積極的に行う又、新規作業の検討を更に行う。 ・経費の管理を徹底し、節約計画を立て、実行する。 ・近隣の保健師さんと相談員さんと連携を深め新規の利用者を増やす。 ・費用対効果が望めない作業の整理削減を行う。(借りている田畑の返還も含め)

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	就労継続B型事業所
施設の名称	ぐーと
施設の所在地	長野市稲里町下氷鉦字北河原1315-2

2 事業報告

営業日及び営業時間	月曜～土曜 9:00～15:30(利用時間) ・ 11:30～15:00(カフェ営業時間)
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	所長兼サービス管理責任者 1人 食品衛生管理者 1人 生活支援員 2人 職業指導管理者 1人 職業支援員 2人
利用対象者	身体障害・知的障害・精神障害
利用者の状況	就労継続B型 身体3名・知的9名・精神5名
送迎	あり
車輛の利用状況	送迎車 ウィッシュ ・ セレナ(リフト車)
利用の料金・費用	障害者総合支援法に基づく利用料 ・ お茶代 50円/日
具体的な事業内容	利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行う。日中において生活リズムや食事等の栄養バランスの指導、生活等に関する相談及び助言その他の必要な生活上の支援を行う。 ・カフェ営業・ソーセージ、ハム、ベーコン等 製造・パン製造・お菓子、デザート 製造販売・小物作り
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・長野牛乳様、マルナカ様の海ほたる等箱折りの内職作業を新規獲得した。 ・外部から菓子製造の委託を受ける機会が得られた。 ・給付費がH28年度 平均月110万円 →H29年度 平均150万円まで上げられる事が出来た。 ・長期休みの利用者が2名いたが、その他の方は、安定して来られていた。H29年度新規利用の方は3名いた。 ・職員のチーム力を生かした支援を行え利用者の安心安定の利用につながった。 ・早目にチラシを作成し配布を積極的に行い、イベントの開催を通じて集客に繋がり、カフェでのお客様もリピーターが増えた。 ・在庫(商品・食材)のロスがなくし、また光熱費などの経費削減に努めたがまだ仕入費などの経費がかかっている。 ・衛生管理など徹底して行いそれを継続して行えたことにより、クレームや異物混入等の事故はゼロだった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで作業内容が固定しており幅広く利用者の方へ対応できていなかったが、内職作業も新規獲得したことにより作業を多様化し、幅を広げる事が出来、利用者の増加につながった。 ・外部の菓子製造の委託を受けたが、結果的に長期委託には繋がらなかったが、製造にあたり、設備等の環境や人員、能力等を見極める事が出来た。 ・給付費は新規利用者もあり、上半期は上がったが、体調不良や就職による退所があり、その後の新規利用者がなく給付費が上がらなかった。 ・職員の支援の向上をはかる。 ・チラシ作成、配布により集客に繋がってきているが配布場所が限定されているところもある。 ・在庫(商品・食材)のロスや光熱費などの経費が多くかかっている。
次年度への具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容の向上を計り、様々なニーズに合わせた支援を行い、幅広く利用していただける方を増やす。 ・養護学校や関係機関に発信していき、利用者の確保に努める。 ・職員の支援の向上を目指し相談支援、虐待防止、調理師免許取得、接客マナー研修に参加しスキルアップをしていく。 ・それにより専門知識をもった職員により作業技術の向上や生活支援を行っていく。 ・地域の企業と関係を構築し、仕事の確保をして工賃アップを目指す。 ・在庫管理を徹底し、ロスを少なくし、水道光熱費などの経費も工夫をしながら職員一同削減に努める。 ・カレンダー、広告の配布、SNSなどの活用を行い事業所の周知に努めていく。 ・送迎にも力を入れ、通所しやすい事業所を目指していく。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	共同生活援助、短期入所
施設の名称	のんびりほーむ、のんびりほーむお2かい、のんびりほーむもも、のんびりほーむおとこ組、のんびりほーむさくらがおか
施設の所在地	<ul style="list-style-type: none"> ・のんびりほーむ、のんびりほーむもも、のんびりほーむお2かい 長野市稲葉2320番地1 ・のんびりほーむ おとこ組 長野市大字七瀬中町211番地15 ・のんびりほーむ さくらがおか 長野市高田941-5

2 事業報告

営業日及び営業時間	365日24H
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	管理者 所長 1人 サービス管理責任者 2人 生活支援員、世話人 23人
利用対象者	3障害
利用者の状況	身体22名(精神・知的重複含む)、精神2名(知的重複含む)、知的4名
送迎	無
車輛の利用状況	日本財団の助成を受け整備。主に緊急対応に利用。
利用の料金・費用	共同生活援助 家賃、食費、水光熱費、日用品など、月額 65,000円から75,000円 短期入所 食費 700円/2食、水光熱費・消耗品 500円/1泊
具体的な事業内容	(1) 共同生活を営むべき住居に入居している利用者に対し、一日を通し住居において行われる入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、通所先その他関係機関との連絡、その他必要な日常生活上の支援 (2) 個別支援計画に基づき、利用者が安心して有意義な生活を送れる為の支援 (3) 利用者の金銭の取り扱い (4) 地域の住民との交流
評価	◎利用者が安心して有意義な生活を送れる様、利用者のニーズ等を職員全員が確実に把握をし、日々の変化等の申し送りを周知徹底した。 ◎車両整備により、緊急対応をスムーズに行う事ができた。 ◎地域住民との交流に向け、職員がすすんで挨拶をする事。ゴミ出しや雪掻きなどマナーの徹底に努めることが出来た。
課題	1.慢性的な職員不足が解消されることが無く、サービスの低下がみられた。特に女性職員の夜勤勤務者不足と男性職員の高齢化に課題がある。 2.精神、行動障害のある利用者に対して、職員の知識、経験が不足している。研修等で理解を深める必要がある。 3.短期入所受け入れの際、重度の場合職員配置が現状では困難であること。
↓	
次年度への具体的な取り組み内容	1.毎月のミーティングの際、テーマを決め、職員研修を行っていく。 2.マニュアル化の仕組み作りを行い、サービスの均一化に取り組む。 3.短期入所(重度)受入可能な職員体制の確保。 4.正規、嘱託職員のミーティングを月1～2回行う。

平成29年度 事業報告書

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	研修事業
施設の名称	共同研修センター
施設の所在地	長野県長野市大字高田941-5

2 事業報告

営業日及び営業時間	不定期
職員配置(職名・氏名) 責任者名(役職)	センター長 1人 事務員 1人
利用対象者	一般、施設職員関係者等
利用者の状況	雇用保険受給対象求職者、雇用保険を受給できない求職者、有職者等一般等
送迎	無
車輛の利用状況	無
利用の料金・費用	特に定めなし
具体的な事業内容	<p>法人や法人に関係する団体等の研修を毎年開催しており、関係する団体と共同で研修センターを設置し、研修の拠点として共同運営をしている。</p> <p>《職業訓練》 雇用保険を受給している求職者及び、雇用保険を受給できない求職者向けの職業訓練の委託を受けて介護職員を養成するための研修事業を運営している。 又、有職者等、一般対象者向けとしてコーディネートプラザ主催のマイステップカレッジ(移動支援サービス従業者研修)を開催している。</p> <p>《NPO関連研修》 長野県相談支援専門員協会、長野県ハンディキャップ連絡会、地域で暮らそうフォーラムの事務局として各研修の問合せ、研修運営スタッフとの情報伝達、資料受渡し等の窓口、及び研修で使用する機器、備品の常時保管、研修資料一式を保管管理する拠点として運営している。</p> <p>1. 求職者対象職業訓練 ①H29年4月27日～7月26日(委託元:長野県技術専門学校) NN-02介護職員養成科 受講者20名、修了者20名 ②H30年1月19日～4月18日(委託元:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構) 定員15名で募集活動し応募者が半数以上の9名になったため開講したが、2名辞退、中途退校1名で6名が訓練修了した。</p> <p>2. 団体、関係機関の研修、会議等で使用 ①マイステップカレッジ(移動支援サービス従業者養成研修)H30年1月19～3月12日 ②法人理事会、代表者ミーティング、経営会議等 ③NPO関連理事会、研修打ち合わせ等 長野県相談支援専門員協会研修年間9件 長野県ハンディキャップ連絡会研修年間4件(シルバー人材向け含む)</p>
評価	<p>1. 求職者向け職業訓練 《技術専門学校委託訓練》 受講生20名全員が研修修了し且つ、研修終了3か月後の就職率が85%で訓練支援金プラス就職支援金が入手できた。又、訓練生の中から必要な人材を法人内への就職に繋げることが出来た。 《高齢・障害・求職者雇用支援機構委託訓練》 訓練修了者は6名と少なかったが、委託先に訓練実績が認識され、今後のプロポーザルでの効果が期待できる。 求職者支援訓練では、研修センター内で介護研修の演習が可能になり、会場レンタル費用が削減されると共に訓練生の会場移動の負荷が軽減され、訓練アンケートの評価向上にも繋がっている。</p> <p>2. NPO関連研修事業 研修実施に伴う打ち合わせや理事会等の会場として、集まりやすく研修事業の拠点としての活動が滞りなく遂行できた。(特に東北信地域での集まりには有効)</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練が開講されない期間の研修室利用方法(利益となる方法) ・介護職員初任者研修の法人内講師の育成(外部講師の高齢化及び職員のスキルアップを図る) ・職業訓練生で、駐車場を要望する訓練生全員の確保ができない。
次年度への具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で、介護職員初任者研修の講師となれる人材の選出と講師向け研修受講により講師育成を図る。又、可能な範囲で講師助手として訓練に参加し、外部講師の指導により、スキルアップを図る。 ・職業訓練及び法人内の会議等で使用しない期間における研修室利用方法(使用料を収入源にできる)を検討していく。